

「教員のための英語リフレッシュ講座」

日程：平成27年8月3日(月)、4日(火)、5日(水)、6日(木)、7日(金)
会場：大阪大学大学院言語文化研究科他(豊中キャンパス)

本講座は、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学あるいは民間教育機関等の校種を問わず、英語教育の実践のために役立つ知識を提供することを主眼としています。グローバル化に対応するためのさまざまな政策が打ち出される中、日本の英語教育のあり方が新たに問われる今日においては、このような講座の果たす役割はますます大きくなるものと思われます。

本講座の講師は、英語教育学・英語学・英語史・英文学・音声学・応用言語学・社会言語学・認知言語学・コーパス言語学等を専門とする大学教員が中心で、それぞれの分野の知見に基づき、英語教育への応用について考察します。大阪大学の教員だけでなく、他大学の非常に著名な先生方に講義をお願いしております。また、小中高の教育現場にたずさわる先生方にも出講をいただいています。

さらに、英語教育に関する講義だけでなく、文字通りの「英語リフレッシュ講座」として、英語力自体をあらためてブラッシュアップしていただくための少人数クラスも設けています。本年度はまた、「グローバル人材育成」を目指す英語教育に関するシンポジウムなども企画しています。

本講座は、おかげさまで、平成14年度の発足以来、年々発展してまいりました。本年度の講座も、これからの英語教育について一緒に学ぶ有意義な1週間となることを楽しみにしております。

講師および演題

8月3日(月)

10:00～10:20 オリエンテーション 英語リフレッシュ講座企画WG
10:20～12:00 「日本人に相応しい英語教育－英語で授業ができるのか？」 成田一名誉教授
* 13:00～14:30 「英語らしい発音の科学－ダイナミックメカニズムと発音・聴解の秘儀」 成田一名誉教授
* 13:00～14:30 「早期英語教育とその具体的指導実践」 (小学校英語科・英語活動アドバイザー) 田縁真弓先生
* 14:40～16:10 「欧州とアジアの英語教育と教員養成」 (京都光華女子大学) 河原俊昭教授
* 14:40～16:10 「英語力を最大限に生かすESP」 (神戸女学院大学) 川越栄子教授

8月4日(火)

* 10:30～12:00 「認知的視点から見た英文法」 早瀬尚子准教授
* 10:30～12:00 「英語力を評価するために知っておきたいこと」 今尾康裕准教授
* 13:00～14:30 「生徒の英語力を伸ばす音読指導－留意点と技法」 (京都外国語大学) 鈴木寿一教授
* 13:00～14:30 「スピーチからインタラクティブなスピーキング力評価法の再規定」 岡田悠佑講師
* 14:40～16:10 「英語のイントネーション－メカニズムと指導法の実際」 (関西国際大学) 有本純教授
* 14:40～16:10 「外国語学習の動機付けと情意－小学校外国語活動を中心に」 西田理恵子准教授

8月5日(水)

10:30～12:00 「国際英語をどう学ぶか－非母語話者モデルの英語教育」 日野信行教授
13:00～14:30 「英文を読む楽しみ」 沖田知子教授
* 14:40～16:10 「教室で役立つ英語史の知識」 尾崎久男准教授
* 14:40～16:10 「異文化への文学的まなざし－夏目漱石から現代英語文学作家へ」 霜島慶邦准教授

8月6日(木)

10:30～12:00 「コーパス分析に基づく新しい語彙指導とライティング指導の展開」 (神戸大学) 石川慎一郎教授
13:00～14:30 「英語語法の考え方・調べ方」 (関西学院大学) 八木克正名誉教授
* 14:50～17:10 「コミュニケーション基礎」 デーヴィッド・マレー講師、アンドリュー・村上スミス准教授
* 14:50～17:10 「コミュニケーション中級」 スティーヴ・ミュラー講師、ナンシー・リー特任准教授
* 14:50～17:10 「コミュニケーション上級」 ジェリー・ヨコタ教授、タマラ・コーヘン特任准教授

8月7日(金)

10:00～11:40 シンポジウム 西田准教授、今尾准教授、岡田講師、竹蓋順子准教授、今井祥詠教諭
12:30～14:00 「コミュニケーションにとって重要な英語発音指導とは？」 (同志社大学) 森庸子囑託講師
14:10～15:40 「英語教育の歴史から英語教育政策を問い直す」 (和歌山大学) 江利川春雄教授
15:50～17:00 全体討論 成田一名誉教授、森庸子囑託講師、江利川春雄教授、他
17:10～17:20 講座修了証授与式 大阪大学大学院言語文化研究科長 木村茂雄教授

■同時帯に開講の*印付きの講義は選択です。申し込み用紙に、それぞれの時間帯で選択する講義に○を付けて下さい。「コミュニケーション」は「基礎・中級・上級」が選択ですが、定員を超えた場合は調整させていただきますのでご了承下さい。
■会場では3日(月)に本講座の講師陣が執筆の『英語リフレッシュ講座』(大阪大学出版会)を著者割引2,000円で頒布いたします。

定員 定員80名(先着順：定員に達した時点で大阪大学大学院言語文化研究科HPに掲示します。)
本講座は、社会と大学を直接的に結び、大学の基礎・応用研究を学校の現場で活かしていただくことを主眼としており、中学校、高校、小学校などで英語教育に携わっている方ならびに携わることを目指している方を対象にしています。それ以外の方は定員に余裕がある場合に限り、受講可とさせていただきますので、本研究科HPでご確認ください。

講習料 10,500円

参加申込み(受付期間 7月2日(木)～7月17日(金) 期限厳守)

- E-mail**(アドレス: genbun-soumu@office.osaka-u.ac.jp)または下欄の「受講申込書」に、氏名(フリガナ)、年齢、住所、電話番号、メールアドレス、職業、勤務先名、選択講義をご記入のうえお申し込みください。
なお、「受講申込書」で申し込まれる方は、下記宛先まで**郵送**または**ファックス**でご送付願います。
宛先：〒560-0043 豊中市待兼山町1-8
大阪大学言語文化研究科・外国語学部豊中事務室総務係
FAX：06-6850-5865
- 受講の可否を申込み受付後、E-mailにて通知いたします。お申し込み後、1週間以内にこちらから通知が届かないようでしたら、一度お問い合わせください。
- E-mailによる受講許可通知に記載の方法により、指定振込銀行口座へ受講者氏名でお振り込み(手数料はご本人負担)願います。
・お振り込みいただきました講習料は、欠席された場合でも返金できませんので、ご了承ください。

会場 大阪大学大学院言語文化研究科他(所在地 豊中市待兼山町1-8)
豊中キャンパスマップ <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/toyonaka/toyonaka.html>
電車によるアクセス 阪急電車宝塚線 石橋駅(特急・急行停車)下車 東へ徒歩約15分
モノレールによるアクセス 大阪モノレール 柴原駅下車 西へ徒歩約15分
アクセスマップ <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/accessmap.html>

問い合わせ：大阪大学言語文化研究科・外国語学部豊中事務室総務係
(E-mail: genbun-soumu@office.osaka-u.ac.jp TEL:06-6850-5855)

主催 大阪大学大学院言語文化研究科 <http://www.lang.osaka-u.ac.jp/lc/>

後援 大阪府教育委員会・兵庫県教育委員会

・全講義(時間帯)の60%以上に出席された受講者の方には講座修了証書を授与いたします。それ未満の方には受講証明書を後日送付いたします。
・お申し込みの際に必要なみなさまの情報は、連絡先の把握及び今後の公開講座運営上の統計資料作成、関連情報の提供以外には使用いたしません。

平成27年度大阪大学大学院言語文化研究科公開講座

「教員のための英語リフレッシュ講座」受講申込書(記載漏れがある場合には受講できません)

(フリガナ)			年齢	歳
氏名				
住所	(〒 -)			
	日中連絡可能なお電話番号： ()			
E-mail(必須)	@			
職業(必須)	学校名	TEL： ()		
8月3日(月) 13:00～14:30	() 「英語らしい発音の科学－ダイナミックメカニズムと発音・聴解の秘儀」 () 「早期英語教育とその具体的指導実践」			それぞれの時間帯で選択する講義の()に○を記入
8月3日(月) 14:40～16:10	() 「欧州とアジアの英語教育と教員養成」 () 「英語力を最大限に生かすESP」			
8月4日(火) 10:30～12:00	() 「認知的視点から見た英文法」 () 「英語力を評価するために知っておきたいこと」			
8月4日(火) 13:00～14:30	() 「生徒の英語力を伸ばす音読指導－留意点と技法」 () 「スピーチからインタラクティブなスピーキング力評価法の再規定」			
8月4日(火) 14:40～16:10	() 「英語のイントネーション－メカニズムと指導法の実際」 () 「外国語学習の動機付けと情意－小学校外国語活動を中心に」			
8月5日(水) 14:40～16:10	() 「教室で役立つ英語史の知識」 () 「異文化への文学的まなざし－夏目漱石から現代英語文学作家へ」			
8月6日(木) 14:50～17:10	「コミュニケーション」 () 「基礎」 / () 「中級」 / () 「上級」			

講師プロフィール & 講義内容



日本人に相応しい英語教育－英語で授業ができるのか？

英語らしい発音の科学－ダイナミックメカニズムと発音・聴解の秘儀

成田 一

大阪大学名誉教授 英日対照構造論・機械翻訳・言語教育/習得論専攻

著書『日本人に相応しい英語教育』（松柏社）他、編著『英語リフレッシュ講座』（大阪大学出版会）他、英語教育総合学会会長。
講義内容：言語類型と習得理論の観点から日本人に相応しい英語教育を検討し、学習意欲を高め運用能力を育てる「総合的な訳読」や（脳内音読を伴う）多読による運用自動化を解説するほか、「英語で授業」「小学校英語」「入試/卒業資格へのTOEFL導入」の問題点も追究する。
講義内容：発声の生理のMRI画像、音読時の脳活動画像なども示しつつ、「ダイナミックな発音変容の仕組み」の理解を踏まえて、発音・聴解の解説と訓練を行うとともに、「発音教育において何を教えるなければならないか」を理論的かつ実践的に論じる。



早期英語教育とその具体的指導実践

田縁眞弓

私立小学校英語科・公立小学校英語活動アドバイザー 早期英語教育専攻

私立小中高一貫英語科アドバイザー。立命館大学・京都教育大学講師。公立小学校英語活動アドバイザー。小学生向け英語テキスト著者。
講義内容：指導時間数の増加、開始年齢の早期化など教科化を視野に今後展開される小学校における早期英語教育を具体的な実践例とともに紹介する。またそこで培われる英語力を中高でどうつなぐか、先進校での取り組みや成果から検討する。



欧州とアジアの英語教育と教員養成

河原俊昭

京都光華女子大学教授 言語政策・アジア英語・英語教育専攻

世界各地の言語教育の実態を研究。編著書に『世界の言語政策』（くろしお）、『アジア・オセアニアの英語』（めこん）等。
講義内容：世界の国々は教育を重視していくことで、変革の時代を乗り切ろうとしている。この講義では、欧州とアジア諸国の英語教育、とりわけ教員養成制度の実態を見ていくことで、日本の言語政策に関して、そこから何が学べるか考えてみたい。



英語力を最大限に生かすESP

川越栄子

神戸女学院大学教授 英語教育学(ESP)専攻

著書に『ニュースで読む医療英語』（講談社）、『実践的時事英語医療版－ザ・デイリーヨミウリを読む』（大学教育出版）等。
講義内容：ESP（特定目的の英語）教育が英語教育の流れを大きく変えている。職業に必要な英語や特に関心を持つ分野の英語を教えることで、英語学習への興味とモチベーションを高め、英語力を最大限に伸ばすことができる。学生は将来その英語力を最大限に生かすことができる。



認知的視点から見た英文法

早瀬尚子

言語認知科学講座准教授 認知言語学・構文論専攻

英語構文と意味、主観性、視点を研究。著書に『英語構文のカテゴリ－形成』（勁草書房）、『認知文法の新展開』（研究社）等。
講義内容：「言語形式は我々の捉え方を反映する」という認知言語学の考え方を基に、前置詞や動詞の多義、構文の書き換えに伴う意味の違い、日英発想法と英作文パターン等を扱う。



英語力を評価するために知っておきたいこと

今尾康裕

言語文化教育論講座准教授 応用言語学（言語テスト）専攻

学習者コーパスからの知見をライティングテストに生かす方法を研究。Mac用のコーパス分析ツール、文字起こしツール等を開発。
講義内容：学校において評価すべき生徒の英語能力とは何なのか、英語のテスト作成時に何を基にして、どのような点を考慮する必要があるのか、また、それらは一般の英語テストと何が違うのか、などについて考える。



生徒の英語力を伸ばす音読指導－留意点と技法

鈴木寿一

京都外国語大学教授 英語教育学（指導法研究）専攻

4技能、文法、語彙指導法研究と授業自己診断テスト開発。『英語音読指導ハンドブック』大修館書店、検定教科書*New Stream*ほか。
講義内容：音読指導を行っているのに学習者の英語力が向上しないという悩みを先生方からよく聞きます。その原因は音読指導の不適切さにあります。講義では、よく行われている不適切な音読指導を取り上げて問題点を明らかにし、音読指導を効果的に行うための留意点と手順を紹介します。



スピーチからインタラクションへスピーキング力評価法の再規定

岡田悠佑

言語文化教育論講座講師 応用会話分析・応用言語学専攻

著書に*Assessing second language pragmatics*(分担執筆)(Palgrave)、論文に*Role-play in oral proficiency interviews: Interactional footing and interactional competencies*(*Journal of Pragmatics*)など。
講義内容：スピーキング力はこれまでどのように規定され測定されてきたのか。本講義では「スピーキング力」という概念の歴史の変遷を辿るだけではなく、複数の実際の英語スピーキングテストのビデオデータを詳細に「見る」ことで、新しいスピーキング力評価法を議論する。



英語のイントネーション－メカニズムと指導法の実践

有本 純

関西国際大学教育学部教授 英語音声学専攻

ジーニアス英和大辞典で発音担当、『ことばと認知の仕組み』（三省堂）、外国語教育メディア学会で英語発音教育研究部会長、関西英語教育学会理事。
講義内容：個々の母音や子音の扱いよりも難しい「英語のイントネーション」に関して、先ず機能やメカニズム面から理論的な説明を行い、受講者の理解を深める。続いて、教室での指導法の実践について、様々なアイデアを提案しながら、演習も兼ねて行う。



外国語学習の動機付けと情意－小学校外国語活動を中心に

西田理恵子

言語文化教育論講座准教授 応用言語学専攻

博士（外国語教育学）。第二言語習得時における学習者動機と情意要因を研究。著書に*Empirical studies of affective variables and motivational changes among Japanese elementary school EFL learners* (金星堂) 他がある。
講義内容：第二言語習得時における動機付けと情意要因に関する理論的背景を概観し、教育介入型研究の実践事例と研究結果に関する報告を行う。主に小学校外国語活動に関する事例を紹介する。授業の後半には、プロジェクトを実施する予定である。



国際英語をどう学ぶか－非母語話者モデルの英語教育

日野信行

言語文化教育論講座教授 「国際英語」教育専攻

International Association for World Englishes理事。共著書に*Principles and Practices of Teaching English as an International Language* (Multilingual Matters), *English as an International Language in Asia* (Springer)など。
講義内容：単なる母語話者の模倣ではない「国際英語」の教育について論じる。理論的基盤の考察に加え、国際英語を現実の状況において体験する学習方法等について取り上げたい。



英文を読む楽しみ

沖田知子

言語コミュニケーション論講座教授 ことば学専攻

ことばと心の関係を総合的に捉える「ことば学」を研究。『アリスのことば学－不思議のプリズム』(共著、2015)等。
講義内容：ことばの選択や文脈等も含め、使い手が「なぜこのような言い方をし、どのようなことを伝えようとしているのか」を意識して立体的にこころを読み解き、読み手としての「英文楽」を味わいたい。今回は『不思議の国のアリス』に仕掛けられた遊びをとりあげる予定。



教室で役立つ英語史の知識

尾崎久男

言語文化比較交流論講座准教授 中世ゲルマン語学専攻

博士（英語学）。日本中世英語英文学会評議員。印欧語全般（特にゲルマン語）を対象として、言語間の相互影響を調査・研究している。
講義内容：英語史に関する知識があつて初めて、現代英語の正確な姿が見えてきます。例えば、「組合」と「玉葱」が同語源だと分かった時の楽しさを、皆さんが担当する授業で生徒たちに教えられるよう、その手助けとなるような講義を考えています。



異文化への文学的まなざし－夏目漱石から現代英語文学作家へ

霜鳥慶邦

言語文化システム論講座准教授 イギリス文学・文化専攻

博士（言語文化学）。近現代イギリス文学・文化研究。近著に『文学理論をひらく』（北樹出版）、『ロレンスへの旅』（松柏社）など。
講義内容：夏目漱石の文学・文化論を出発点として、多くの国々の脱植民地化を経た現代のグローバル時代に活躍中の複数の英語文学作家たちの発言を参照しながら、外国語・外国文学を学ぶことの意義について、一度基本に立ち返って考えてみたいと思います。



コーパス分析に基づく新しい語彙指導とライティング指導の展開

石川慎一郎

神戸大学教授 応用言語学・コーパス言語学専攻

主著に『英語コーパスと言語教育』、『ベーシックコーパス言語学』、『言語研究のための統計入門』他。
講義内容：大規模な言語データを解析するコーパス言語学の進展により、従来は教師の経験や勘に委ねられることが多かったL2指導にも確かな指針が得られつつあります。本講義では、最新のコーパス調査の知見をふまえた語彙指導やライティング指導の在り方について具体的にお話しします。



英語語法の考え方・調べ方

八木克正

関西学院大学名誉教授 英語学専攻

辞書編集、英語の語法・フレイジオロジー研究者。近刊書は『小学館オックスフォード英語コロケーション辞典』(2015)。
講義内容：どの本にも書いていない、誰も答えを知らない語法上の問題は数限りなくあります。辞書や語法に関する本をひもといても解らないことをどうやって調べればいいのでしょうか。具体的な問題を取り上げて、その解決法を考えてみましょう。今回の目玉のひとつは「クジラの構文」です。

コミュニケーション

基礎 ①Encouraging creativity and originality to enhance fluency



Dave Murray

Course Description: The theme for this lecture is that of encouraging creativity and originality and using these characteristics as a means to enhancing fluency and speaking proficiency skills in both traditional and technology-based language lessons.



基礎 ②Ideas for vocabulary building

Andy Murakami-Smith

Course Description: Students can develop their own vocabulary using dictionaries. But are there ways teachers can help development of basic vocabulary at middle school, entrance-exam vocabulary at high school, or technical vocabulary at university? Please be ready to share your ideas.

中級 ①Methods and techniques of utilizing Drama and Role Play in second language acquisition



Steve Muller

Course Description: Drama and Role Play allow students to practice the target language (English) in authentic situations and give them confidence to use English in real situations outside the classroom. This workshop also includes actor training techniques that can enhance your own teaching skills.



中級 ②Developing speaking proficiency in Japanese students

Nancy Lee

Course Description: This course aims to provide participants with the opportunity to reconsider the teaching and development of speaking proficiency for Japanese students. Participants will be asked to contribute their ideas and to try out the activities.

上級 ①Networking with Professional Peers



Gerry Yokota

Course Description: Want to practice talking in English about current real-life situations happening at your schools? Then this is the place for you. Bring your own challenges and ideas, and look forward to collaborating with other teachers to produce effective solutions.



上級 ②An Introduction to Non-Sexist Use of Language

Tamarah Cohen

Course Description: English, like most languages of the modern world, partakes in the male-is-norm ideology. It therefore reflects and helps constitute sexual inequality. This workshop will offer an overview of the problem, and include both practical teaching ideas and resource recommendations.

シンポジウム：グローバル人材育成を目指した大学英语教育

西田理恵子(言語文化教育論講座准教授)・

今尾康裕(言語文化教育論講座准教授)・竹蓋順子(大阪大学サイバーメディアセンター准教授)・

岡田悠佑(言語文化教育論講座講師)・今井祥詠(大阪市立咲くやこの花中学校教諭)

講義内容：近年、我国においてもグローバル人材育成が急務とされているため、大学英语学習者の言語データ (TOEFL-ITP®) を基盤として、グローバル人材育成を目指した大学英语教育における①言語運用能力、②動機と情意、③学習者アイデンティティ、④海外留学を成功させる教育実践、⑤教育現場の実態という視点から議論を行う。



コミュニケーションにとって重要な英語発音指導とは？

森 庸子

同志社大学嘱託講師 日英対照音声学専攻

日本語と英語の音声の共通点と相違点、および日本人英語の特徴を音声実験により研究。
講義内容：コミュニケーションにとって重要な英語発音指導とは何かを、先行研究・音声実験・授業での経験からお話しします。またウェブサイトEnglish Sound Cabinでの母子音の発音練習法、シャドーイング・音読演習法も紹介します。



英語教育の歴史から英語教育政策を問い直す

江利川春雄

和歌山大学教育学部教授 英語教育学・英語教育史専攻

英語教育史・政策論・協同学習論を三位一体で追求している。日本英語教育史学会会長。著書『日本人は英語をどう学んできたか』など。
講義内容：小学校英語、コミュニケーション重視、英語で授業。どれも明治期から試行錯誤を重ね、日本人にふさわしい英語指導・学習法が模索されてきた。そうした歴史から学び、最新の知見を交えながら、グローバル人材＝エリート育成に走る英語教育政策の危険性を問い直したい。